



Final Exam



1月の1週目から2週目にかけて期末テストがありました。静岡文化芸術大学ではレポートが成績評価の大部分を占めていますが、イズミル経済大学では中間・期末テストの点数で成績の約8割が決まります。他2割は出席や課題のできで決まります。中間よりも期末テストの方が成績評価を占める割合が大きいので、期末前になるとみんな図書館にこもり、勉強に集中するため友人と遊ぶのを控えるようになります。

科目により異なりますが、ほとんどのテストの流れとして、選択肢の中から選ぶ問題が数問→数行で答える記述問題が数問→200字程度で答える記述問題が1、2問という形式でした。

英語やトルコ語などの言語のテストはそこまで難しくなかったですが、その他の科目（グローバルゼーションや文化人類学）は、その専門分野の内容を英語で勉強するのが大変でしたし、その分野でしか使わない英単語を覚える必要があったので、勉強するのに多くの時間が必要で苦労しました。

ほとんどのテストは記述問題が大半を占めているのですが、記述する際答えたい内容は頭にあるのにそれを表現する英語が思いつかなくて、なんて英語で言えばいいんや、と頭を抱え、結局思うように文章が書けないことがありました。英語でまだまだつまづいているので引き続き勉強頑張りたいと思います。

テストの点は後で知らされるのですが、自分の解答用紙は返却されないし、正しい答えを知らせてもらえないので、どこが間違っていたかを確認できたらもっと自分の学びに繋がるのになと思います。

すべてのテストが終わって一週間以内に最終的な成績評価が通知されます。私は在学中で留学しており留学中に取得した単位を文芸大の単位に変換する予定なので単位を落とさないか心配でしたが、なんとか全ての教科の単位を取得できほっとしました。

今回の Semester では5科目しか履修しませんでしたでしたがそれでも少し大変でした。しかしもう少し多くの単位を取得するために次回の Semester では7科目程度履修しようと考えています。ある程度大学にも慣れて授業の流れも分かったので、授業数は多くなりますが何とか頑張りたいと思います。

TRIP TO MERSIN

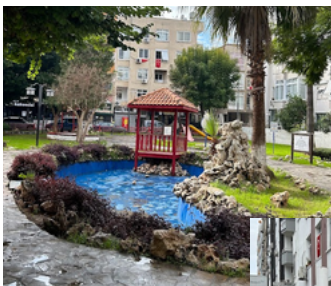


冬休みに入り、多くのトルコ人の友人がそれぞれの故郷に帰っていくなかで、親しいトルコ人の友人2人が奇跡的に同じ故郷であることが判明し、2人に合いに4日間メルスィンという町に行きました。イズミルからアダナという町まで約1時間半飛行機で移動し、アダナから約2時間かけてバスでメルスィンまで行きました。メルスィンはトルコ南部に位置する地中海に面した場所で、一年を通して温かい気候です。イズミルも温かい場所ですがメルスィンの方が気温が高かったです。海がものすごく綺麗で透明度が高く癒されました。海岸沿いには公園やカフェがあり、多くの人がお散歩したりゆったりして過ごしています。私も友人と毎日海沿いに行って3時間ぐらいおしゃべりしながら過ごしました。イズミルよりゆったりしていて心地よかったです。

串本通り



日本とトルコが友好的な交流関係をもつようになったのは、1890年のエトウトール号遭難事件がきっかけだといわれています。本事件ではトルコ船が和歌山県串本町の沖合で沈没した際、串本町近隣の住民たちが乗組員の救助活動を行いました。その後串本町とメルスィン市は姉妹都市となり、メルスィンに慰霊碑が建立されました。この通りには日本の灯籠のようなものが道沿いに設置されており、慰霊碑がある公園には日本庭園がありました。トルコにこのような場所があることに驚きましたし、日本とトルコの歴史的関係が深い場所にこれとても良かったです。トルコではこの歴史をほとんどの人が知っていますが日本ではそうでないので、もっと多くの人にトルコとの歴史や関係を知ってもらえたらいいなと思います。



ご当地グルメ

Kunefe



パリパリした細い麺の中にチーズとピスタチオを入れて焼き上げ、シロップに浸したスイーツ。トルコアイスと一緒にいただきました。激甘で最高です

Tantuni

肉、野菜、スパイスが薄い厚みのパンに包まれたスパシーな料理です。肉は牛、羊、鶏の中から選択できます。私は友人のお勧めで上にヨーグルトがのったものを食べました。最高にうまいです



Atom

様々な果物、牛乳、ハチミツで作られたドリンク。スムージーみたいで美味しかったです。

